

単元名 ことばについて考えよう

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすることができる。
 (2) 語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くことができる。
 (3) 身近なことを表す語句の量を増やして語彙を豊かにし、様子を表す言葉を使って文を書こうとする。

標準的な展開例

02010305_001

【教材名】 ようすをあらわすことば (下 P.94～P.97)

【準備等】 雨の降っている写真または絵

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 写真の様子を表すのに適した言葉を考え、発表する。</p> <p>★様子を表す言葉について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雨の写真を見て、様子が分かるように言葉を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨が () 降っている。 ○ 考えた言葉を発表し、様子に合っているか話し合う。 ○ 考えた言葉を、似た者同士でいくつかのグループに分ける。 <p>2～3 教材文を読み、様子を表す言葉について整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文を音読する。 ○ 教材文の中から様子を表す言葉を探し、発表する。 ○ 様子を表す言葉には種類があることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どれくらいかを表す言葉 (形容詞) ・ 言葉の響き、音 (オノマトペ) ・ 例え (比喩表現) ○ 前時に自分で出した言葉を3つのグループに分ける。 <p>4 様子を表す言葉を使って文を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書(P.97)の三つの挿絵から、どんな様子が分かるかを話し合う。 ○ 三つの挿絵について、様子を表す言葉を使って、文を作る。 ○ 作った文を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真を提示し、雨が降った経験を想起させ、そのときの様子を自由に表現させてから取り組ませる。 ・ ノートに思い付く言葉を書かせる。 ・ さまざまな表現の仕方があることに気付かせたい。 ・ 何に注目してグループ分けしたのかも考えさせる。 ・ 初めは教師が範読し、その後各自で音読させる。 ・ 様子を表す言葉に線を引きながら音読させてもよい。 ・ 発表された言葉を形容詞 (形容動詞)、オノマトペ、比喩表現に分けて板書する。 【評】 言葉探しの活動を通して、言葉には意味のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする「知識・技能」を評価する。 ・ 例文を読み比べ、文の印象が違うことに気付かせる。 ・ 様子を表す言葉を使うことで、より詳しく分かりやすくなることや、表現が広がることにも触れる。 【評】 様子を表す言葉を整理する活動を通して言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付く「知識・技能」を評価する。 ・ それぞれの表現の特徴を考えながら、使い分けできるようにする。 ・ 挿絵を見て、どのような様子か、自由に話し合わせる。 ・ 聞こえてくる音や、描かれている人物が思っていることなどを考えさせ、想像を広げさせる。 ・ 3種類の様子を表す言葉を使って書くようにする。 ・ 一つの挿絵で複数の表現を使って、いくつかの短文を使ってもよいこととする。 【評】 様子を表す言葉を使った文作りの活動を通して、語と語、文と文の続き方に注意してつながりのある文を書く「思考・判断・表現」を評価する。 【評】 文作りを通して、語彙を豊かにし、様子を表す言葉を使って文を書こうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ ペアで読み合い、表現の仕方のよいところや気に入った表現を伝え合わせる。

【 備 考 】